

R 5 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	国語・国語表現（森・イ）	単位数	2	担当者	神田
---	----	-------	--------------	-----	---	-----	----

1、教科書・副教材

国語表現 改訂版（大修館） 新訂国語図説（京都書房）

2、科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたテーマを的確に捉え、適切な情報をもとに考察し、論理的に表現する力をつける。 ・多くの課題作文を通じ、時間や時数の制限に答えられる文章表現を身につける。 ・相手や場面に応じた会話や議論の進め方を身につける。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	「表現力を培う」 ①文章の基礎	①国語で「表現」することへの関心を養う。 表現の基礎となる「自分の考え、意見」を持つことについて考える。 ②的確に主題を読み取る力をつける。 要約する力、データを的確に読み取る力を養う。 ③④履歴書、志望理由書、課題作文などの書き方を学ぶ。 効果的な自己PRの仕方について考える。 自分の魅力や人柄を伝えるための話し方を探る。	35	実施なし (年間を通し、レポートや作品の提出、発表等に基づき評価する。)
	5月	・言葉・表現への関心 ・考えるということ			
	6月	②文章を読み取る			
	7月	・文章の構成・要約			
	8月	「表現力を培う」 ③小論文・レポート入門			
9月	④自己PRと面接				
後期	10月	「表現を楽しむ」 ⑤話すこと、聞くこと	⑤声で伝える力とコミュニケーション力を高める。	35	
	11月	・ショートスピーチ ・インタビュー	⑥自分の考えや思いを創作に結実させることで、言葉の魅力や可能性に迫る。		
	12月	⑥さまざまな表現	⑦さまざまな通信文の作法、電話の作法、場面に応じた話し方について理解を深める。		
	1月	・創作文			
	2月	「表現力を培う」 ⑦実用的な表現			
	3月				
			※年間を通し、外部のコンクール等に応募することを目指す。		

4、評価の方法・観点

評価方法	評価の観点	
・提出物による評価。 ・発表等の評価。 ・問題等に取り組む姿勢。	①関心・意欲・態度	積極的に授業参加しているか。課題等は提出しているか。
	②話す・聞く能力	相手の要点を聞き取り、説明する対話の力をつけたか。
	③書く能力	相手や場に応じ、論理的あるいは感性的に伝わりやすい文章の力をつけたか。
	④読む能力	表現の核心を押さえ、自分の考えを深めることができたか。
	⑤知識・理解	授業内容を理解し、日本語や漢字の力を身につけられたか。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・個別作業が中心となるので、能動的に授業に参加すること。 ・作品提出の期日を厳守すること。 ・表現力や語彙力を磨くために、日常的に新聞や書籍に触れるよう心がける。

R 5 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	国語・現代文B（普・理）	単位数	2	担当者	米山
---	----	-------	--------------	-----	---	-----	----

1、教科書・副教材

高等学校 改訂版 現代文B（第一学習社） 新訂国語図説（京都書房） 核心漢字 2500+語彙 1000（尚文出版） 現代文単語ノート（文英堂）

2、科目の目標

・読解・鑑賞・読書の方法を修得し、ものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、表現力をも高める。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲	
前期	4月	①評論「写真の持つ力」	①段落分けやキーワードの抽出から文章全体の論理展開を把握し、「ジャーナリズム」を改めて問い直す。	35	①②	
	5月	②評論「未来世代への責任」	②文章の論理展開を正確に捉え、経済学と環境問題の関係に興味を持つ。			
	6月	③小説「タオル」	③祖父の死に接した少年の感情の動きと物語背景の考察を通して、「他者」と「生」を意識的に捉える。		35	③④
	7月					
	8月					
9月	④評論「いのちのかたち」	④生命倫理の観点から「いのち」とは何か考えることを通して、物事の表層にある利便性や有効性だけでなく、その裏面について思考を巡らせる。				
後期	10月	⑤小説「檸檬」	⑤青年期の心象風景や研ぎ澄まされた感覚などに着目しながら、独特の虚構世界を読み取る	35		⑤⑥⑦
	11月	⑥評論「身体の個別性」	⑥論述されている抽象的な概念を理解し、自分自身の問題として捉え返す力をつける。			
	12月	⑦小説「幼なじみたち」	⑦物語展開に即して登場人物の行動や言葉に込められた心情を読み取る。			
	1月	問題演習			35	
	2月					
3月						

4、評価の方法・観点

評価方法	評価の観点	
・定期および実力テストの素点 ・提出物等、日常の学習状況を参考にする。	①関心・意欲・態度	言語文化に対する関心を深め、国語力を向上させたか。
	②話す・聞く能力	相手の要点を聞き取り、説明する対話の力をつけたか。
	③書く能力	相手や場に応じて、論理的、感性的に伝わりやすい文章力をつけたか。
	④読む能力	表現の核心を押さえ、自分の考えを深めることができたか。
	⑤知識・理解	漢字力や語彙力を高め、言語・文化および言葉の決まりや特徴を理解できたか。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・客観的に本文の主旨（筆者の意図）を理解する習慣をつける。 ・辞書や漢字練習帳を繰り返し開いて、語彙力定着に努める。 ・普段から様々な文章に親しむと共に、常に身の回りの事象に対して興味関心を持って過ごすよう心がける。

R5 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	国語・現代文B（森・イ）	単位数	2	担当者	米山
---	----	-------	--------------	-----	---	-----	----

1、教科書・副教材

新編現代文B（東京書籍） 新訂国語図説（京都書房） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） 国語必携パーフェクト演習（尚文出版）

2、科目の目標

様々な文章の読解を通し、論理的に考え、表現できる能力を養う。また、新古の作品に触れ、豊かな情操を養う。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	①評論「最初のペンギン」	①筆者の考えを手がかりに、自分の生き方について考える	35	①②
	5月	②小説「カンガルー日和」	②小説の中に流れる雰囲気を感じ取り、私たちの日々の感情の動きについて考える。		
	6月	③評論「言葉は世界を切り分ける」 ④詩歌「永訣の朝」 「一日の長さ」 ※年間を通し、語彙および進路に関する文章の指導（作文・履歴書等の書き方）を行う。	③他言語と比較から言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持つ。		③④
	7月		④様々な詩歌を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養う。		
	8月				
9月					
後期	10月	⑤評論「もう一つの知性」	⑤科学的思考とは異なる思想のあり方を理解し、現代社会を生きる態度を考える。	35	⑤⑥
	11月	⑥小説「山月記」	⑥登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。		
	12月	⑦随想「カフェの開店準備」	⑦筆者の思考を手がかりに、自分の日常を見つめ直す。		⑦⑧
	1月	⑧小説「ベル・エポック」	⑧背景となる社会状況や語り手の視点に注意して読み、小説を味わう。		
	2月				
3月					

4、評価の方法・観点

評価方法	評価の観点	
・定期および実力テストの素点 ・提出物等、日常の学習状況を参考にする。	①関心・意欲・態度	言語文化に対する関心を深め、国語力を向上させたか。
	②話す・聞く能力	相手の要点を聞き取り。説明する対話の力をつけたか。
	③書く能力	相手や場に応じて、論理的、感性的に伝わりやすい文章力をつけたか。
	④読む能力	表現の核心を押さえ、自分の考えを深めることができたか
	⑤知識・理解	漢字力や語彙力を高め、言葉の決まりや特徴を理解できたか。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・辞書を活用し、語彙力をつける。
- ・適切な文章表現を心がける。
- ・提出物の期限を必ず守る。
- ・興味関心のあること以外にも幅広く書籍を多く読み、教養を深める。

R5 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	国語・古典A（普通科・文系）	単位数	2	担当者	丸山
---	----	-------	----------------	-----	---	-----	----

1、教科書・副教材

高等学校 改訂版 古典A（第一学習社） 新訂国語図説（京都書房） 完全マスター古典文法（第一学習社） 新明説漢文（尚文出版） 核心古文単語 351（尚文出版） 漢文語彙字典（尚文出版）

2、科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ ほどよくまとまった分量、内容の古典文学作品を読むことで、読解力をつけるとともに、古典文学をより深く理解できるような鑑賞態度も養う。 ・ 古典を読む楽しさを味わい、伝統的な言語文化に触れることで、情緒を豊かにし、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

3、学習の計画

	学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲	
前期	4月 ①『伊勢物語』 「渚の院」「さらぬ別れ」	①平安時代のかな文学になじませ、平安貴族の遊興の様子や和歌に込められた思いを読み取る。	35	①②	
	5月 ②『搜神記』 「織女」「売鬼」	②古代中国人が考えていた不思議な世界を味わい、漢文で描かれた内面が多方面へ渡っていることを知る。			
	7月 ③『源氏物語』 「物の怪の出現－葵の上の出産－」	③光源氏を取り巻く人間関係を理解し、登場人物の内面描写や自然描写を読み味わう。		35	③
	8月				
	9月				
後期	10月 ④『源氏物語』 「柏木の懸想」 「薫の五十日の祝ひ」	④光源氏を取り巻く人間関係を理解し、登場人物の内面描写や自然描写を読み味わう。	35	④⑤	
	11月 ⑤『俊頼髓脳』	⑤歌論の表現に接し、当時の人々の歌についての考え方を理解する。			
	12月 ⑥問題演習	⑥演習問題中心の授業となる、		35	⑥
	1月				
	2月				
3月					

4、評価の方法・観点

評価方法	評価の観点	
・ 定期および実力テストの素点を参考にする。 ・ 提出物等、日常の学習状況を参考にする。	① 関心・意欲・態度	言語文化に対する関心を深め、国語力を向上させたか。
	② 話す・聞く能力	相手の要点を聞き取り、説明する対話の力をつけたか。
	③ 書く能力	相手や場に応じて、論理的、感性的に伝わりやすい文章力をつけたか。
	④ 読む能力	表現の核心を押さえ、自分の考えを深めることができたか。
	⑤ 知識・理解	漢字力や語彙力を高め、言語・文化および言葉の決まりや特徴を理解できたか。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・ 必ず予習（筆写・語句の意味調べ・品詞分解・書き下し文の作成・口語訳等）をして授業に臨む。予習と復習の繰り返しによって語彙量を増やし文法事項や句法を自分のものとする。 ・ 読解の基本となる語彙力、文法力等を身につけた上で、スピードを持って本文の読解が可能になることを目指す。

R5 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	国語・古典B（普・理）	単位数	2	担当者	杉村・仁科
---	----	-------	-------------	-----	---	-----	-------

1、教科書・副教材

高等学校 改訂版 古典B（古文編） 高等学校 改訂版 古典B（漢文編）（いずれも第一学習社） 新訂国語図説（京都書房） 完全マスター古典文法（第一学習社） 新明説漢文（尚文出版） 核心古文単語 351（尚文出版） 漢文語彙字典（尚文出版）

2、科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・単語力、古典文法や漢文の句法、古典常識等の知識を反復学習し、総合的な読解力を養う。 ・古典についての理解や関心を深めることにより、人生を豊かにする態度を育て、学習に主体的に取り組むことで、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。

3、学習の計画

	学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月 ①『十訓抄』（古） 「賢人右府」	①実資は「賢人」という評価を願う思考をたどり、彼の行動と説話編者の提示する教訓との関係をつかむ。	35	①②
	5月 ②「奇花石」（漢）	②「好悪の判断」について書かれた文章から、筆者が「好き嫌いに一定の尺度はない」という理由をつかむ。		
	6月	③出仕して間もない清少納言の心境や、中宮定子の心遣いを言動に注意して読み取る。		③④
	7月 ③『枕草子』（古） 「宮に初めて参りたるころ」			
	8月 ④『大鏡』（古）			
9月 「菅原道真の左遷」	④時平と道真の人物像をそれぞれ読み取る。和歌と漢詩に詠まれた道真の心情を、時間の経過に注目して読み取る。			
後期	10月 ⑤「道平、人皆由道」（漢）	⑤登場人物がそれぞれとった方策を整理し、どのような結果になったか把握する。結末の「無一人跡」となった理由をつかむ。	35	⑤⑥
	11月 ⑥『蜻蛉日記』（古） 「うつろひたる菊」	⑥王朝女性の日記文学について、文学史的な流れをおさえる。主語を補いながら丁寧に読み進め、作者の苦悩を読み取る。 演習問題中心の授業となる、		
	12月 問題演習			
	1月			
	2月			
3月				

4、評価の方法・観点

評価方法	評価の観点	
・定期および実力テストの素点を参考にする。 ・提出物等、日常の学習状況を参考にする。	①関心・意欲・態度	言語文化に対する関心を深め、国語力を向上させたか。
	②話す・聞く能力	相手の要点を聞き取り、説明する対話の力をつけたか。
	③書く能力	相手や場に応じて、論理的、感性的に伝わりやすい文章力をつけたか。
	④読む能力	表現の核心を押さえ、自分の考えを深めることができたか。
	⑤知識・理解	漢字力や語彙力を高め、言語・文化および言葉の決まりや特徴を理解できたか。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読し、古文や漢文のリズムに慣れる。 ・必ず予習（筆写・語句の意味調べ・品詞分解・書き下し文の作成・口語訳等）をして授業に臨む。予習と復習の繰り返しによって語彙量を増やし文法事項や句法を自分のものとする。

R5 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	国語・古典研究（理数科・文系）	単位数	2	担当者	米山
---	----	-------	-----------------	-----	---	-----	----

1、教科書・副教材

高等学校 改訂版 古典B（古文編） 高等学校 改訂版 古典B（漢文編）（いずれも第一学習社） 新訂国語図説（京都書房） 完全マスター古典文法（第一学習社） 新明説漢文（尚文出版） 核心古文単語 351（尚文出版） 漢文語彙字典（尚文出版）

2、科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・古典Bの授業で学びきれなかった部分を中心に、より深い国語学習をめざす。 ・これまでの成果を踏まえ、古語、古典文法や漢文の句法の確認および用例に習熟する。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲	
前期	4月	①『今物語』「やさし蔵人」	①登場人物の人間関係や物語の流れを正確につかみ、蔵人の機転を理解する。	35	①②③	
	5月	②「道平、人皆由道」	②「田家」がとった方策と「或るひと」が提案した案を理解し、「予」がとった方策の優れている点について考察する。			
	6月	③『大鏡』「菅原道真の左遷」	③敬語表現や物語の特性に注意して読み、時間の経過により道長の心情がどのように変化していくのか理解する。			
	7月	④『三国志演義』 「張飛、大いに長坂橋を鬧がす」	④物語性の高い漢文に触れる。長編歴史小説『三国志演義』の名場面を鑑賞する。		35	④⑤
	8月					
9月	⑤『源氏物語』 「住吉参詣」	⑤帰京後の源氏の威勢を目の当たりにした明石の君が身分差を意識して悲しむ心情を読み取る。				
後期	10月	⑥『とりかへばや物語』 「父大納言の苦悩」	⑥『源氏物語』の系譜にある王朝文学に触れる。姫君と若君の描写にある対比的構造を理解する。	35		⑥⑦
	11月	⑦『玉勝間』 「兼好法師が詞のあげつらひ」	⑦宣長と兼好の考え方の相違を読み取ることを通して、宣長の思想を理解する。			
	12月	問題演習	演習問題中心の授業を行う。		35	応用問題
	1月					
	2月					
3月						

4、評価の方法・観点

評価方法	評価の観点	
・定期および実力テストの素点を参考にする。 ・提出物等、日常の学習状況を参考にする。	①関心・意欲・態度	言語文化に対する関心を深め、国語力を向上させたか。
	②話す・聞く能力	相手の要点を聞き取り、説明する対話の力をつけたか。
	③書く能力	相手や場に応じて、論理的、感性的に伝わりやすい文章力をつけたか。
	④読む能力	表現の核心を押さえ、自分の考えを深めることができたか。
	⑤知識・理解	漢字力や語彙力を高め、言語・文化および言葉の決まりや特徴を理解できたか。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読し、古文や漢文のリズムに慣れる。 ・必ず予習（筆写・語句の意味調べ・品詞分解・書き下し文の作成・口語訳等）をして授業に臨む。予習と復習の繰り返しによって語彙量を増やし文法事項や句法を自分のものとする。
